

多彩なふくしま水田農業推進事業（一部新規）

1 趣 旨

稲作農家の所得向上を図るため、県オリジナル品種を始めとする福島県産米の品質向上と食味「特A」の獲得・堅持に取り組むとともに、水田農業の高度利用を推進することにより、ふくしま型水田農業を構築する。

2 事業内容

(1) ふくしま米オール“特A”獲得推進事業

食味・品質の向上と平準化を図るための取組を支援し、本県主要7品種・銘柄全てで食味「特A」獲得を目指す。

(2) ふくしまプライド日本酒の里確立事業

ア 県産米日本酒育成支援事業

県産酒造好適米の使用量を増やして日本酒を増産する蔵元に対し、機材の整備等を支援する。

イ 新品種「福島酒50号」普及推進事業

「福島酒50号」の安定供給と利用拡大のため、展示ほの設置や研修会・イベント開催等を行う。

ウ オリジナル酒造好適米育成加速化事業

「福島酒50号」の醸造試験や生産技術確立のための試験を行う。

(3) ふくしま水田高度利用推進事業

水田における1年2作、2年3作体系を東北地方で先駆けて導入拡大することで、水田の高度利用を促進し、複合経営による稲作農家の所得向上を図る。

(4) (新) ニューマーケット対応型ふくしま米産地育成事業

ア 低コスト・多収栽培技術確立実証事業

低コスト・多収技術に係る試験研究及び現地実証並びに現地検討会等を行う。

イ ニューマーケット対応型体制整備事業

輸出や中・外食用に取り組む米産地における出荷体制の整備等に要する経費を助成する。

- 3 事業実施主体 2の(1) 生産部会、集落営農組織等
2の(2) のア 県内蔵元
2の(2) のイ・ウ 県
2の(3) 営農組織、法人、認定農業者
2の(4) のア 県
2の(4) のイ 農業法人、営農組合
- 4 予 算 額 72,120千円
- 5 補 助 率 2の(1) 定額(ただし、機械等のリース整備は1/2以内)
2の(2) のア、2の(3) 及び2の(4) のイ 1/2以内
- 6 事業実施期間 平成30年度～平成32年度

【担当課：水田畑作課 024-521-7360】

(一部新規) 多彩なふくしま水田農業推進事業

H31: 事業費 72,120千円

現状

30年産米から、国による生産数量目標の配分廃止、生産数量目標達成者への直接交付金の廃止

農業者自らが判断(経営の自由度が拡大)

◎ 産地間競争が激化 → 本県の強み、多彩な地域特性を活かしたふくしま型水田農業の振興

極上の県産米

**ふくしま米オール“特A”
獲得推進事業【36,509千円】**

本県産米の揺るぎない評価の確立と風評払拭を図るため、本県主要7品種・銘柄全てで「特A」を獲得する。

【事業内容】

- ・事業実施主体
県、生産部会、集落営農組織
- ・内容
生産振興会議の運営、良食味・高品質米の生産に必要な経費や機械整備を支援、水稻オリジナル新品種の食味・品質調査

【目標値】

- ・特A取得銘柄数(銘柄)
(H28) 3 → (H32) 7
- ・米の全国価格との差額(円/60kg)
(H28) 800 → (H32) 0

6年連続日本一

**ふくしまプライド日本酒
の里確立事業【18,452千円】**

本県産蔵元が求める品質を確保し、県産酒造好適米の安定供給を図るとともに「福島酒50号」の生産体制を構築する。

【事業内容】

- ・事業実施主体
県、酒造蔵元
- ・内容
県産日本酒増産を支援、生産振興検討会の運営、新品種「福島酒50号」の普及推進、酒米育成・品質向上等の試験研究の実施

【目標値】

- ・事業実施酒造業者数(延べ業者)
(H28) 8 → (H32) 30
- ・酒造好適米の作付面積(ha)
(H28) 461 → (H32) 565

東北の先駆けの地へ

**ふくしま水田高度利用
推進事業【10,035千円】**

水田における1年2作～2年3作体系を東北で先駆けて導入を図り、水田の高度利用を推進する。

【事業内容】

- ・事業実施主体
県、営農組織、認定農業者
- ・内容
水田における1年2作～2年3作体系に必要な機械等を支援
取組の中心となる品種の調査

【目標値】

- ・担い手への農地利用集積割合(%)
(H28) 43 → (H32) 66
- ・本県田耕地利用率(%)
(H28) 79.5 → (H32) 86

新たなニーズに応える

**(新)ニューマーケット対応型
ふくしま米産地育成事業【7,124千円】**

需要が堅調な輸出や中・外食向け米の生産に取り組み、単位面積当たりの所得確保を図る。

【事業内容】

- ・事業実施主体
県、営農組織、法人
- ・内容
輸出や中・外食向け米産地が行う新品種の導入、出荷体制の整備等に要する経費の支援

【目標値】

- ・加工用米
・新規需要米の面積(ha)
(H29) 7,283 → (H32) 7,700

目標

地域創生 水田フル活用による稲作農家の所得向上、被災地域における水田営農再開の加速化